

事務局通信

さて、今年の冬は超暖冬、極少雪でCBに乗れる日も多いですね。

土谷は「一年の計は元旦に有り」の言葉どおり元日早々CBに乗っちゃいました。もちろん、「無事故で有りますように」と神棚にお参りしてからですよ。カミさんはもとより子供たちにも呆れられてしまいました・・・

昨年、6月4日の転倒事故の際には皆様方に多大なご迷惑と心配をおかけして大変申し訳ございませんでした。

傷ついたCBは片桐さんの手当てにより元通りに直りましたし、体の方は野生の治癒力で舐めて直しました。つくづくCBも体も頑丈にできているなーと感心する出来事でした。

いずれにしても今年のCB会は全員無事故で行きましょう！！

かわらばんに掲載するネタの提供もよろしくお願いします。

お布施のお願い。2月は年会費納入月です。年会費2,000円をお願いします。

取引銀行 第四銀行 水原支店 普通口座1267875

名義人 CB750CLUB代表 片桐 和善

事務局にお持ち頂くか、上記への振り込みでお願いします。

事務局 土谷でした。

会長通信

土谷さんが編集したひさびさの「かわらばん」、如何でしたでしょうか。紙面が余ってしまったので私からのレストア・インプレッションを掲載します。

現在、フルレストアしているCB750Four K0は、元々が「白バイ仕様」でした。つまり、一般市販車を改造しての「白バイもどき」だったわけです。で、それをノーマルに戻しつつ、フルレストアを施すと言う、とんでもない挑戦を行った次第です。というのは、元々白バイのパーツと市販車のパーツではあまりにも異差があり、部品の収集に苦労しました。

純正のエンジンパーツやリム、欠品部品を新品にただけで70万円以上。再メッキで10万円、バフ研磨で8万円、ボーリングとバルブガイド打ち替え・面研などで12万円、そこに塗装及びサンド・ブラストで15万円、闇矢屋特製の複製部品で25万円、シートなどの中古部品で5万円、メーターリビルド、ケミカル類及び油脂、ステンボルト等々、数えればきりがありません。総費用合計は175万円程でした。

しかし、再塗装に施した「キャンディー・レッド」は、通常の下地ではなく、荒目のシルバーを使用。これは太陽光の反射によって全体が光り輝くように工夫しました。

昔から手元にあったK0のパーツをストックから探し出しながら、しかもエンジン内部や車体全体についてはK0の弱点を改良しつつ行った作業時間は延べで2ヶ月以上に及び、完成までもう少しとなっています。

このK0は昭和45年の前期に製造された、いわゆる砂型から金型に変更された初期のモデルです。当クラブのやまちゃんのCBの直後に製造されたモデルでした。

オーナーは阿賀野市内(旧京ヶ瀬)のお医者さんです。奥様もオートバイに乗られており、近々お子様も普通二輪を取得する予定だとか。複数台のコレクションに、このCBが加わるとのことでした。

「雨降りには絶対に乗りませんよ」と言っていたのですが、同じ事を言っていた「やまちゃん」が、雨をもともせずに乗っていた事を話してあげた次第です。

片桐 和喜

NIIGATA DREAM CB750Four CLUB

久々の発刊!

VOL, 79

久々の発刊です。皆さんお元気でしたか?の巻

CB750Four教の信者みなさん お元気ですか?

新年のご挨拶が遅くなりましたが皆さまの無事故、無違反、ご健康とご多幸をお祈り申し上げます。今年もよろしくお祈りします。

あわせて、地球温暖化による異常気象のため、長らくかわらばんの発刊が滞っていたこととお詫び申し上げます。ごめんなさい。 (自分達の怠慢を地球のせいにする事務局。)

久しぶりに、布教活動を開始し聖書(かわらばん)を信者の皆様にお届けしますので、お布施をよろしくお祈りします。 今年からCB会は宗教法人となりました。ウウウ

K0にこだわると部品集めが大変!!の巻



現在、教祖様のガレージではK0のフルレストアを行っています。このK0はベースが白バイもどきのために、ハンドル・ハンドルスイッチ・ライトケース・メーター・シート・フェンダー・リヤショック・ホーン等あげればきりがありません。K0に戻すにはあまりにも欠品が多く部品集めに大変苦労しながらレストアしています。

まずは純正パーツを発注してみて、欠品は名古屋のCB専門ショップ「闇矢屋」か、またはyahooオークション等で探します。それでも無いものは単品製作するか、リビルドできるものはそれを行います。

メーターもそのひとつで、そこで頼りになるのがメーターのコンプリートレストアの依頼を受け付けてくれる岡山県の「クラフトビー」です。

今回の依頼はポンコツK1メーターをベースにK0メーターに改造してもらうこと。

クラフトビーに電話をかけてみたところ「やってできないことは無いのだが、クオリティや耐久性に欠けるため、お金を頂く以上完璧でない仕事はできない」とのことでした。しかたがないので文字盤をK0の赤フリで仕上げてもらうことにしました。ケースは粉体塗装で仕上げられ、もちろんガラスも新品に交換されます。今回はスピードメーターアップパーケース内のウォームギア1個3,000円、メーターリング1個5,500円が別料金となりましたが、1年間の保証が付いてスピードメーターとタコメーターで税込み61,425円でした。新品メーターが手に入らない現在、新品同様に仕上がってこの値段で有れば安いと思いませんか?



なお、今後メーターリビルドを考えている方は、自分でメーターリングを一度でも開けた物はメーターリング交換となるので注意が必要です。



このK0には闇矢屋の無番マフラーを装着する予定です。どんな爆音を奏でるのか楽しみです。根岸研磨で磨き上げられたアルミパーツは、まるでメッキを施したように光り輝いています。仮性包莖だったフロントフェンダーは教祖様の手で割礼され、文字通りのカットフェンダーになりました。宇都宮機械製作所の再メッキで輝きと持久力もアップ！？純正部品よりクオリティーが高いです。オマケに純正部品より安価！！メッキ層もかなり厚く、仕上げは超一品です。お試しあれ。

660ccホンダビート・エンジンオーバーホールの巻

土谷のビートは平成5年式で85,000キロを走り、白煙を吐くようになったため教祖様から魂の入れ替えをおこなってもらうことになりました。

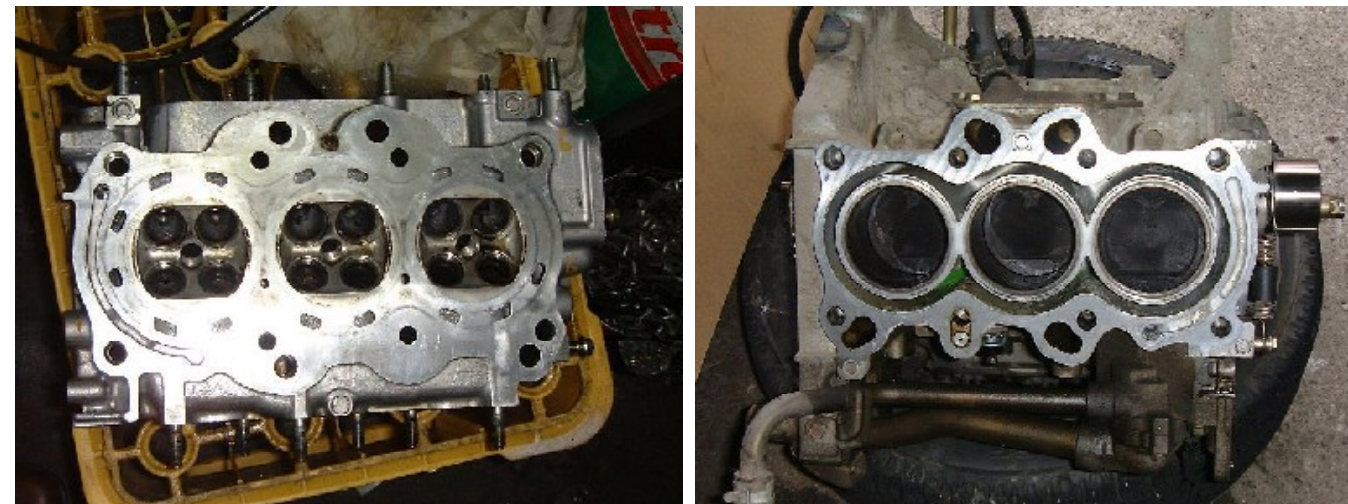
教祖様からは「700ccにボアアップしてカムを入れ替えたらおもしろいエンジンになるぞー！」と言われましたが、私にはそんなお金はありません。なので、今回は基本パーツのみの交換でO. Hしてもらった事にしました。ちなみに、パーツひとつひとつの値段はCBのそれに比べたら格安です。

エンジンの脱着は、おやじさんと奥さん二人で商売している新津の茨城モータースでおこなうことにしました。



シリンダーヘッドは東京の近藤内燃機でガイド加工、打ち替え・バルブ研磨・シート仕上げ・バルブすり合わせを依頼しました。

で、早速エンジンの分解。シリンダーは無く減りもなく良好なコンディションでしたが、ピストンリングは薄型タイプであることも起因して使用限界を超えていました。要するに「オイル上がり」の現象にあった事が判明した次第です。よって、ピストンリングも新品にしちゃいました。



ヘッドカバーを赤く塗ってみました。この塗料は普通のアクリル系缶スプレーとは異なり、2液性のウレタン塗料で缶の中で主剤と硬化剤が混ざる優れ物。イサム塗料の製品で色は19色あり。取り扱い説明にはその日のうちに使い切ることと書いてあるが数日後でも使用可能でした。姥ヶ山のスーパーホームセンター「ムサシ」で1,980円購入できます。



8万キロを走破したビートのエンジンは、若干クランク・メタルの「減り」が見受けられたため、この際に交換となりました。使用限界内だったんですが、”この際だから！”と…。

「CBに比べると、エンジン寿命は短いみたいだね。」とは片桐氏の弁。確かにそれなりの”ヤレ”具合でしたけど。しかしながら構成部品が大きく、ボルト類に至ってはCBより2サイズぐらい大きい。分解整備に部品の紛失が無かったのは”このため？”かな？

シリンダースリーブはCBの半分ぐらいしかない。片桐氏は「新たにライナーを作成して打ち替えれば750ccのビートが出来るかも。」だって。ケラケラ笑いながらも手早く組み上げる「技」に、驚くばかりでした。「今春ぐらいには「SPECIAL RESTORE SHOP KATAGIRI」が誕生するか？ 納期の確約はしないし、気ままな開店だから、すぐに倒産だね。」とは片桐氏の弁でした。

CB会のガレージは、今でも健在です。皆様の気ままなご来店をお待ち申し上げます。

いかがでした、久びさの男らしい？かわらばんは

このかわらばんが皆さまのもとに届く頃にはK0もビートも完成していることと思います。次回は、2台のインプレッションをお届けします。乞う御期待！！